

部会におけるこれまでの検討経緯等

平成 14 年 7 月 10 日

- 薬事・食品衛生審議会に対して「米に係るカドミウムに関する規格基準の改正の可否について」を諮問
- 平成 13 年度厚生労働科学研究報告の提出を受けて、薬事・食品衛生審議会食品規格・毒性合同部会を開催
- 審議の結果、現時点で緊急に規格基準を改正する必要はないとされ、現在実施中の疫学調査研究の最終的な報告を待って、再度審議を行うこととされた。
- 今後の審議は、毒性部会に疫学や臨床医学等の専門家を加え、カドミウムの毒性評価をまず重点的に議論し、結果が取りまとめられた段階で食品規格・毒性合同部会を開催し、米の基準値等について検討を行うこととされた。

平成 14 年 11 月 29 日

- 我が国で実施された疫学調査研究及び農産物等の実態調査の結果を FAO/WHO 合同食品添加物専門家会合（JECFA）へ提出

平成 14 年 12 月 25 日

- JECFA へ提出した疫学調査研究及び農産物等の実態調査の結果を薬事・食品衛生審議会食品規格・毒性合同部会へ報告

平成 15 年 5 月 2 日

- 水産庁が水産物に含まれるカドミウムの実態調査結果について公表

平成 15 年 5 月 23 日

- 平成 14 年度厚生労働科学研究報告の提出を受けて、薬事・食品衛生審議会毒性部会を開催
- 審議の結果、厚生労働科学研究班の櫻井班長を中心に毒性評価に当たり検討を要する点を取りまとめ、次回毒性部会で検討を行うこととされた。
- 水産庁が実施した水産物に含まれるカドミウムの実態調査結果については、平成 14 年 12 月に報告した農作物等の実態調査結果と共に、薬事・食品衛生審議会食品規格・乳肉水産食品・毒性合同部会において検討を行うこととされた。